

新聞で一般常識学ぶ

静岡理工科大 キャリア講座

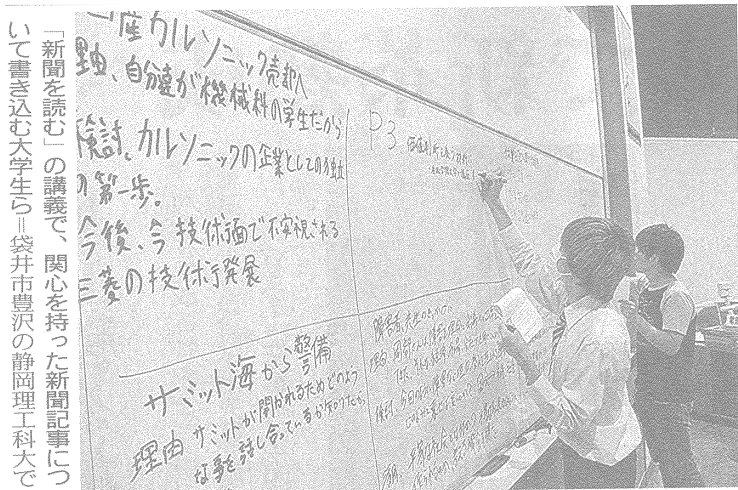
NIE

…教育に新聞を…

袋井市豊沢の静岡理工科大のキャリア開発講座「新聞を読む」が二十四日開かれ、三年生約三百人が、社会人

としての一般常識を身に付けるには新聞が役立つことを学んだ。

企業の人材開発教育などに詳しい山田頼二さんから二人が講師を務めた。企業が新卒を採用する際に行う筆記試



「新聞を読む」の講義で、関心を持った新聞記事について書き込む大学生ら。袋井市豊沢の静岡理工科大で

験は、社会人としての一般常識を備えているかを問うものと指摘。「毎日、世の中で何が起きているのかを吸収する必要はある」とし、新聞の重要性を強調した。

その上で五、六人のグループに分かれ、政治経済、国際、社会問題などについて、当日の中日新聞から関心を持った記事を選び、なぜ関心を持ったのか、といったことについて発表した。

山田さんは「情報化社会の中で必要なのは、自ら情報を集め、情報を選択し、自身の知識・知恵として習得することだ」と語った。